

あらいぐみ

# (株)新井組

西宮市池田町12番20号 ☎0798-26-3111



公式サイト

総合建設業として建築、土木の仕事を手がける新井組。「社員が幸福になる会社」を掲げるとともに、協力会社とのつながりを大切に「内容において日本一」の会社を目指します。

## 需要が高まる耐震工事・建替え工事も数多く手がける



本社屋上施設/プロジェクター投影が可能で、バスケットボール等の施設も整備

2024年で、設立80周年を迎える新井組。

兵庫、東京、名古屋の3拠点に計350人の社員が在籍し、建築、土木工事をバランスよく手がけています。近年は、阪神・淡路大震災の経験を生かして培った耐震補強工法を強みに、建築分野では築50年近くが経つ団地の改修工事、土木分野では高速道路を支える橋脚の耐震補強工事をはじめ、既存の建物、構造物をより長持ちさせる工事も数多く手がけています。また、建築受注の多くは自社で設計を行っており、顧客の声を直接聞きながら設計から施工までを担うことで高い顧客満足を実現しています。

## 「社員が幸福になる会社」を目指して

自由闊達な社風で、社長室の扉を開放し、社員とのコミュニケーションを大切にしている馬場公勝社長は「全社員の顔と名前はほぼ一致する」と言います。「社員が幸福になる会社」を掲げ、屋上にはプロジェクターを投影しスポーツ観戦も楽しめる施設が整備されているほか、地下には現場仕事から帰社したあとにリフレッシュできるシャワールームやパウダールームも完備しています。

一緒に仕事をする協力業者の方たちとのつながりも大切に、「新井組と仕事ができて良かった」と言ってもらえるような「内容において日本一」の会社になることを宣言する

同社。「自分が手がけた仕事ができあがった時の満足感は何物にも代えがたい。建設業で働く喜びをぜひ味わってほしい」と呼びかけています。



いろんな分野で活躍する若手社員/左から設備・営業・工事(2名)

### 企業データ

■設立(創業)/1944年  
(創業1902年)  
■資本金/5億円

■売上高/227億4,248万円(2022年12月期)  
■従業員数/357名

■平均年齢/44.5歳



物流センターや工場でモノを正確に、迅速に運び、仕分けるための駆動源であるモーターローラを1975年に世界で初めて開発した伊東電機。国内シェア70%、世界シェア50%を誇ります。

- 🏆平成28年度 ひょうごオンリーワン企業 (令和3年度再認定)
- 🏆平成30年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 大賞
- 🏆令和3年度 ひょうごNo.1ものづくり大賞 選考委員会特別賞

## モノを運ぶ現場の脱炭素化、DXにも貢献



皆さんの日々の生活を支えています

Eコマースの隆盛に伴って日々忙しく稼働する物流センター。そこで大量かつ多様なモノの流れを支えているのが同社の「パワー

モラー」です。搬送装置に組み込まれたパワーモラーにはモータと減速ギアが内蔵され、回転しながら上に載ったモノを正確に迅速に目的の場所へ運びます。

近年は、ソーラーバッテリーで駆動できるようにしたり、遠隔でも細かな動きを制御可能にすることで、物流現場や工場の脱炭素化やDX（デジタルトランスフォーメーション）にも貢献。2020年度には経済産業省からグローバルニッチトップ企業にも選ばれ、今後は欧米、アジア市場をさらに開拓していこうとしています。

## 「何でも自分たちで作る」チャレンジ精神

搬送技術のノウハウを生かした新事業が、最小栽培空間のセルごとに光、空調を管理し、効率的に出荷できる次世代型植物工場です。これらの旺盛な開発力を支えているのが「何でも自分たちで作る」というチャレンジ精神。生野高原の、木工所や鉄工所が併設されたイノベーション創造拠点にあるログハウスや野球グラウンドも社員の手作りによるもの。「部門をまたがって参加する社員どうしの絆も深まり、風通しの良い社風の醸成にもつながっている」とのこと。入社5年間は奨学金全額(上限あり)を、30歳までは3分の1を補助する返済支援制度を設けるなど新卒社員を

受け入れるための制度も充実しています。



### 企業データ

■設立(創業)/1965年  
(創業1946年)  
■資本金/9,000万円

■売上高/192億円(2023年3月期)  
■従業員数/400名

■平均年齢/35.4歳

ういる  
**(株)ウィル**



公式サイト

宝塚市逆瀬川1-14-39 ☎0797-74-7272

2023年に創業30周年を迎えたウィル。不動産事業全般を手掛け、中古住宅×リフォーム×ローンをワンストップで提供。今後は首都圏に営業拠点を増やし事業の拡大を目指します。

## 中古住宅×リフォームで首都圏展開を強化



二子玉川営業所 (2023年1月開設)

創業以来、阪神間を中心とした関西圏を地盤に不動産事業を展開してきました。中で

も中古住宅を購入する顧客にリフォームを提案する「中古×リフォーム」を得意とします。都市部では新築物件が手の届きにくい価格にまで上昇してしまっていますが、「中古×リフォーム」であれば購入しやすく、自由に間取りがデザインできる点が若い世代を中心に支持されています。18年には中部エリアに進出し、現在6拠点に。2022年4月には首都圏に初進出し、23年1月には同時に2カ所の営業拠点を新設。直近3～5年で東京23区内に約10店舗を展開する予定です。

## 相互理解が結束力を高める

同社は創業以来、新卒社員の採用にこだわって強靱な会社を作ってきました。採用時には、学生一人ずつに対し数回～十数回の面談を繰り返し、相互理解を図ります。その上で、「誠実さ」が感じられる、いわゆる「ええやつ」を採用するようにしています。「内定式＝運動会」は、新卒1期生の時代からの恒例行事。ありのままの互いを知ることにとことんこだわります。社内にはバーもあり、頻繁に社員が活用することでコミュニケーションを深める場になっています。年に一度は仕事を忘れて全員で海外旅行（コロナ時は自粛）も実施。こうした取り組みもあり不動産会社としては離職率が低く、平均年齢が若

く（29歳）、女性社員の比率が高い（男女比率半々）会社です。30周年をホップステップジャンプの「ジャンプ」の節目と位置づけ、成長スピードを加速させていきます。



社内運動会（内定式）は1995年から継続

### 企業データ

■設立（創業）／1995年  
（創業1993年）  
■資本金／2億9,749万円

■売上高／94億6,900万円（2022年12月期）  
■従業員数／301名

■平均年齢／29.6歳



クローゼットや手洗い・洗面カウンターをはじめとする住宅設備メーカー。2020年以降を「オーリス3.0」のステージと位置づけ、人に投資をしながら新たな事業機会を開拓していこうとしています。

🏆平成28年度 兵庫県環境にやさしい事業者賞

## 「人の幸せ」をテーマに提案



ce-fitショールーム

開閉時の指詰めを防止する折れ戸、簡単に部屋の模様替えができる可動間仕切り収納など多くの独自製品を開発してきました。大手ハ

ウスメーカー向けOEM（他社ブランド製品の製造）が主力事業ですが「厳しい要求に応える技術、設備を持ちながら、こちらからも提案することで、大手得意先様との関係を築いてきた」と社長の彦坂充宏さん。テーマは「人の幸せ」。例えば、家事動線を考え洗面脱衣室に収納場所を設けることで無駄な時間（歩数）を減らすことができる新たな暮らし方の提案も行っています。

環境への取り組みにも熱心で、他社では使った後に残った端材を再利用するところ、そもそも端材を出さないよう材料の使い方を設計するところから取り組むなど徹底した思考は他社の追随を許しません。

## 一人ひとりの社員の成長を応援

20代半ばで課長に、30代で執行役員に昇進する社員も多く、若い時から責任と仕事が任されることも同社の特長です。コロナ禍を受け、デジタルツールを活用した社内コミュニケーションを導入し若手社員の意見を反映させやすい仕組みもついています。

2020年には人、組織に重点的に投資し、新規事業の育成に注力していくことを宣言。「働き始めてからもっと学生時代に勉強しておけばと思うものですが、当社は資格取得や勉強したいことがあれば応援もする。会社に

入ってからのほうがより勉強したい方向性が見え、追求できる。どんどんと成長してほしい」と話しています。



生産設備

### 企業データ

■設立(創業) / 1991年  
(創業1946年)  
■資本金 / 8,000万円

■売上高 / 37億1,700万円 (2023年3月期)  
■従業員数 / 200名

■平均年齢 / 41.0歳

おかだきんぞくこうぎようしよ

# (株)岡田金属工業所

三木市大村561 ☎0794-83-1111



公式サイト

「ゼットソー」ブランドで知られるのこぎりメーカー。顧客の要望に応じ、現場に足を運んでできた商品群は、建築現場のプロからDIYを趣味で楽しむ人まで広く愛用されています。

🏆令和3年度 ひょうこオンリーワン企業

## のこぎり生産数量で国内トップ



会社正門から、右のゼットタワー（時計台）は平成2年に建設

岡田金属工業所は売上数量で国内トップを誇るのこぎりメーカーです。創業80年を迎えましたが、のこぎりの生産を始めたのは70数年前のこと。当初はプロ仕様ではない

一般用のこぎりですスタートしましたが、刃だけに焼き入れて丈夫にしたり、刃先を研磨してまっすぐに切れるようにしたりという工夫を積み重ね、プロからも愛用される「安くて長持ちする商品」に育っていきました。業界でいち早く電動のこぎり用の刃を開発したり、リンゴ、ブドウ、ミカンなど枝切りが難しい果物用の<sup>せんてい</sup>剪定のこぎりを商品化したりするなど商品の幅も次々に広げてきました。「使われている現場に足を運んでじっくり話を聞きながら商品化し、喜んでもらえることが一番のやりがい」と会長の岡田保さんは言います。

## 自動化を推進し、残業はほぼゼロ

就業時間は8時から17時まで。片付けを終えて、17時半には正門を閉めるので残業はほとんどありません。のこぎりを作る機械まで自社製作し大切にメンテナンスしながら使い続けているほか、大半の工程で自動化を進めることで労働生産性を向上させてきました。

2022年4月に社長に就任した岡田知子さんは今後の目標について「商品開発を続けていくことはもちろん、工程の自動化やSNSを活用した情報発信にも注力していきたい。そのための人材についてもじっくり社内を考えていくつもりです。」と話します。



百数十種類以上のノコギリを生産しています

### 企業データ

■設立（創業）／1943年

■売上高／18億5,583万円（2022年11月期）

■平均年齢／41.9歳

■資本金／5,000万円

■従業員数／104名



輸入海産物卸から自社ブランド加工食品の製造・販売まで幅広く食関連事業を手がける沖物産。「淡路島から日本一の食提案企業になる」をスローガンに掲げ、進化し続けています。

## 島産食材を使った加工食品で淡路島をアピール



大阪湾工場(冷蔵庫棟)

明治時代初期に創業し、海運業からスタート、海産物卸、倉庫業にも手を広げてきました。現在の主力事業は食品卸・製造で、全国

の業務店向けに冷凍エビやイカなどの輸入農水産物を卸す商事事業、量販店向けに「わかめ煮」などのオリジナルブランド加工食品を製造・販売する食品加工事業などを手がけています。

「1999年に明石海峡大橋が開通して以降は、淡路島の豊かな食材を島外に売り込むべく、さまざまな加工食品の開発、提案に注力してきました」と取締役管理部部長の宮垣芳夫さん。それらはレストランやカフェで、淡路島産タマネギを使ったカレーや、淡路牛を使ったハンバーグなどのメニューで提供され、淡路島産食材のPRIにもひと役買っています。

## 入社1年目でも商品開発は自由に

「一人ひとりの社員の自由度が高く、入社1年目の社員でもこれをやりたいという思いがあれば、先輩が後押しする社風が根付いている」と宮垣さん。自身も海外で食材を開発すべくフィリピンやインド、中国の奥地まで食材の開発に出向いたそうです。設立80周年を迎えた2年前には社員全員で沖縄旅行にも出かけたとのこと。「現状維持では衰退するだけ。これからも変わることを恐れず、社員一丸となってチャレンジしていきたい」と宮垣さんは言います。一つの事業にとどまる

ことなく時代の要請に合わせ業態を進化させてきた「変化する」DNAは今もしっかり根付いています。



毎年恒例の社員旅行

### 企業データ

■設立(創業)/1942年  
(創業 明治初期)  
■資本金/4,000万円

■売上高/116億4,034万円(2023年2月期)  
■従業員数/136名

■平均年齢/38.4歳

おとわでんきこうぎょう

# 音羽電機工業(株)

尼崎市潮江5-6-20 ☎06-6429-3541



公式サイト

強大な電気エネルギーを放つ雷から電子インフラを守る避雷器を製造・販売する雷対策の専門メーカー。時代の変化をにらみながら、ニーズに沿った製品の開発も見据えています。

🏆平成28年度 ひょうごオンラインワン企業 (令和4年度再認定)

## 雷から社会を守る専門メーカー



雷テクノロジーセンター外観

雷の発生数は気候変動に伴って年々増加傾向にあります。落雷後、雷の異常な電気は電源線や通信線などを伝わり、建物内にある電

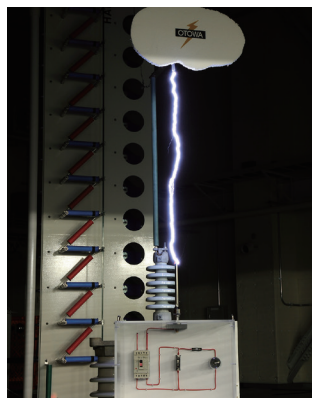
子機器類に影響を及ぼし、設備や装置などに誤作動や異常をきたす原因となります。同社はこうした雷から社会を守るための避雷器のメーカーとして国内トップクラスのシェアを誇ります。

「以前は主にインフラ設備向けが主なお客様でしたが、近年ではさまざまな設備が電子化され、雷によるリスクが大きい工場やデータセンターなど、産業民生分野でのニーズが大きくなってきている。電子化された設備では落雷リスクが増大しているとも言えます」と吉田厚専務取締役。アフリカやアジアをはじめ海外市場も積極的に開拓し始めています。

## 若い力に委ねブランド力を向上

同社では近年、若い社員の活躍も目立っています。「経営層から若い社員まで皆が気さくで、風通しの良い会社です」。会社のホームページやX(旧ツイッター)を活用した会社の情報発信についても若い社員を主体としたプロジェクトチームに委ね、「自由な発想で雷の専門メーカーである当社のブランド力の向上に貢献してくれています」と話します。「IoT化、リモートワークの増大などコロナ禍に伴い変化が進む中で社会を雷からどう守れるか柔軟に提案していかなければなりません。これからも若い人たちの発想を楽しみに

しています」と期待を込めて語ります。



高電圧試験設備の放電実験の様子

### 企業データ

■設立(創業) / 1946年  
■資本金 / 8,190万円

■売上高 / 121億円 (2022年3月期)  
[グループ連結]  
■従業員数 / 280名

■平均年齢 / 44.3歳

おりばーそーす

# オリバーソース(株)

神戸市中央区港島南町3-2-2 ☎078-306-6300



公式サイト

2023年で創業100周年を迎えたオリバーソース。創業来常に新たなソースを送り出してきたベンチャー精神を生かし、ソースにとどまらない総合調味料メーカーを目指しています。

## 新しいことに挑むDNAで独自性を確立



神戸本社 外観

初代が前身の醤油メーカーから転身し、西洋料理がいち早く根付いた神戸でウスターソースの販売、製造に着手。1948年には2

代目が、液状のウスターソースにとろみをつけた濃厚な「とんかつソース」を業界に先駆けて送り出しました。さらに、3代目の道満雅彦社長が、野菜や果物、香辛料などウスターソースに使う原料の沈殿物が廃棄されるのを「もったいない」と感じ、それを有効活用して1993年に「どろソース」として発売しました。上澄み（ウスター）、沈殿物（どろ）のどちらにもこだわる姿勢が他のソースメーカーと異なる独自性を生み出すことにつながっています。

## 100年の先に目指す「総合調味料メーカー」

最近では、大学生と共同で、神戸産の野菜、果物を使った「神戸クラフトソース」を開発したほか、「どろソース」と人気アニメ「ガールズ&パンツァー」とのコラボ商品を企画し、好評を博しました。「今後は新卒採用に取り組み、若い世代に商品の開発、発信を任せていきたい」と4代目の道満龍彦取締役企画室長は話します。

100周年を記念して発売した商品は「食に対する嗜好の多様性」をふまえ、植物代替肉に合うソースを商品化しました。「美味しさをより引き立たせるのが調味料の役割。これからはソースにとどまることなく総合調味料

メーカーを目指していきたい」と、培われてきたベンチャー精神のDNAでさらなる挑戦を誓っています。



創業100周年記念商品「The Answer」

### 企業データ

■設立（創業）／1966年  
（創業1923年）  
■資本金／9,960万円

■売上高／22億7,300万円（2022年9月期）  
■従業員数／52名

■平均年齢／40.0歳



かねてつでりかふーす

## カネテツデリカフーズ(株)

神戸市東灘区向洋町西5丁目8番地 ☎078-857-3878



公式サイト

「ほぼカニ」に代表される「ほぼシリーズ」商品のほか、おでんにも使われるちくわなどを製造する練り製品メーカー。ユニークな商品群を強みに2025年には創業100周年を迎えます。

👑令和3年度 ひょうごオンリーワン企業  
👑成長期待企業

## 独自技術で社会に貢献



まるで本物のような見た目、味、食感を再現した人気のほぼシリーズ!

本物のズワイガニのような味・食感・見た目を再現した練り製品「ほぼカニ」。誕生のきっかけは価格が高騰し、手が届きにくく

なったズワイガニを手軽に食べることはできないかと考えたことでした。2014年の発売以降、さらに本物に近づけるべく毎年のように改良を加え、2022年には練り製品の売上ランキングでトップに。現在はホタテ、いくら、カキフライなどへシリーズが広がっています。

同社を象徴するマスコットキャラクター「てっちゃん」が誕生したのは1951年と古く「同業他社がひしめく中で存在感を出すためによそがやらないことに挑戦してきた」気風は今も受け継がれています。

## やりがいを育む環境

5年前からは、自ら手を挙げた若手社員を中心としたメンバーで構成される「改善プロジェクト」を通して、やりたいこと、変えたいことを実践し、本社のある六甲アイランドの島内清掃、社内休憩スペースのリニューアルなどを進めてきました。「プロジェクトで出されたアイデアはほぼ通る」そうで、「失敗を恐れず高い目標にチャレンジする」スピリッツが浸透しています。

商品については従来の練り製品に加え、便利さや機能性を付加したコンビニエンスストア用のスティック型商品、シーフード商品などのラインナップも増やし、「練り製品」オ

ンリーからの脱却を目指すなど、持ち前のチャレンジ精神をさらに磨きながら創業100周年を迎えようとしています。



2023年新入社員「一人ひとりがカネテツ!」

## 企業データ

■設立(創業)/1948年  
(創業1926年)  
■資本金/4,000万円

■売上高/112億円(2022年9月期)  
■従業員数/394名

■平均年齢/43.6歳



食品用天然色素の製造を行う神戸化成。年齢、役職、キャリアを問わず、「さん」付けて呼び合う風通しの良い風土から生みだされる伸びやかな開発力で着実に成長を遂げています。

- 🏆 令和4年度 ひょうご仕事と生活のバランス企業表彰
- 🏆 ひょうご・こうべ女性活躍推進企業(ミモザ企業)認定企業
- 🏆 ひょうご産業SDGs認証企業(アドバンスステージ)
- 🏆 成長期待企業

## 色素でファーストコールカンパニーをめざす



年2回開催される展示会。添加物の可能性は無限大

赤キャベツ、パプリカ、カカオなどの植物から抽出した赤、黄、橙、茶、青などの色素

を組み合わせ、望み通りの色素をつくり出します。できあがった色素は、外食チェーンや、コンビニの食材やドリンクの着色にも使われています。「専門メーカーゆえのラインナップの豊富さと、お客さまのニーズに応えられる技術力で、新商品開発の時に真っ先に頼られるファーストコールカンパニーを目指しています」と話すのは入社1年目ながら人事や採用の仕事も任されている総務部の清水愛子さん。この10年で売り上げ、社員とも2倍に増え、約300億円といわれる食品用天然色素市場のなかでシェアを着実に増やしています。

## 風通しの良い風土にひかれ入社決める

近年はペーパーレス化をはじめとするDX推進と、属人化した仕事のスキルを見える化したスキルマップなどの活用により、生産性が大幅に向上しています。その結果、全社員が定時に仕事を終わることが当たり前になっています。部署横断の昼食交流会が定期的に関われ、だれもが仲良く話せる社風が根付いており、入社2年目、開発部の石坂知英里さんも「会社の雰囲気の良いさにひかれて入社を決めた」と話します。常務の村川武司さんは「楽しい、好ましい風土のある会社であればおのずとお客さまに対しても良い仕事ができ

る。同じ思いを持った仲間を増やしていきたい」と語ります。



提案型営業でお客様の心をつかむ！

### 企業データ

■設立(創業) / 1981年  
(創業1978年)  
■資本金 / 3,000万円

■売上高 / 20億6,100万円 (2022年12月期)  
■従業員数 / 58名

■平均年齢 / 39.0歳